

山寺通信10月

秋を迎えて、当社は2019年度版本格カタログを作っています。現在陶器の産地はどこも大きく後退しています。作家風の窯元は増えていますが、商業的な窯元やメーカーは、後継者が確保できない等で生産が減少しています。職人的な作り手が高齢化しているので新作も減っています。消費地でもお茶の需要の後退が進んでいます。メーカーサイドでの価格の安さが後継者不足、さらに原料を加工する環境にも影響していますが、これらの状況を反転するのはかなり難しい状況になっています。さらに道具の問題でも常滑焼が機能的な急須を開発してきましたが、正しい急須の持ち方が(横から急須のハンドルを持って手首を捻る)できない世代が増えています。つまり学習しない動作はできないのです。ならば後ろ手のポット形式と言うことになります。さらに敬遠される要件として洗浄と言う後始末ですが、洗い易い、簡単、清潔、丈夫、機能性が良いと感じるステンレス茶漉(ファインアミ)なら受け入れられます。最近、このアミが普及してきています。後は生の葉を使うことにより得られる味、経済性、健康面での優位性の説明です。昔のような好条件が無くなり、悪くなる一方なので、新しい取り組みが必要になります。何もしないと退場しなければなりません。さらに飲み物や食品の種類は増えていきます。お茶は、専門店と言う販売業態が最も本質的な形ですが、それが敬遠されています。成分分析とお湯による味の七変化と解説による付加価値を加えなければ減る一方になります。本来の仕事をしているのか、より積極的にお茶の良さを宣伝しているのか、考えてみる必要があります。**不慣れなことは面倒です。知らないことはできません。急須で茶を入れるのは常識ではなくなりました。新たな説明をしながらお客様を取り込みます。(新旧の世代間の話題のように)**

ファインアミ

		
<p>11-1 ¥4000 330cc ファインアミ</p>	<p>11-2 ¥3000 250cc ファインアミ</p>	<p>11-3 ¥2700 380cc ファインアミ</p>



急須の淵でアミを押さえ不織布の水切りフィルターに出し殻を捨てます。捨てた直後の状態後軽い濯ぎでok

売るための安心と確信

本体ガラスも交換
できる・割れても
六種類のパーツ
パッキン 洗浄時
紛失 摩耗
購買者も安心



ポリエステル
アルミ内張り

保温用
バッグ二点
お湯で奄れたお茶の